

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成28年5月26日 (2016.5.26)

【公開番号】特開2013-228097(P2013-228097A)

【公開日】平成25年11月7日 (2013.11.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-061

【出願番号】特願2013-67226(P2013-67226)

【国際特許分類】

F 1 6 F 15/02 (2006.01)

H 0 1 L 41/113 (2006.01)

H 0 1 L 41/193 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 7/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 F 15/02 Q

H 0 1 L 41/113

H 0 1 L 41/193

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月23日 (2016.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

かかる知見に基づいてなされた本発明は、マトリックスとなるエラストマー又は高分子樹脂中に、二酸化チタンからなる針状の高誘電率誘電体と、セルロースからなる圧電性繊維とが混合されている複合制振材料である。

また、本発明は、マトリックスとなるエラストマー又は高分子樹脂中に、二酸化チタンからなる針状の高誘電率誘電体と、セルロースからなる圧電性繊維と、無機材料からなる扁平状のフィラーと、導電性微粒子とが混合されている複合制振材料である。

本発明では、前記圧電性繊維が、セルロースファイバーからなる場合にも効果的である。

本発明では、前記セルロースファイバーのアスペクト比が 2 ~ 10 である場合にも効果的である。

本発明では、前記二酸化チタンからなる針状の高誘電率誘電体の配合量が 3 重量% ~ 7 重量%で、かつ、前記セルロースからなる圧電性繊維の配合量が 4 重量% ~ 10 重量%である場合にも効果的である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マトリックスとなるエラストマー又は高分子樹脂中に、二酸化チタンからなる針状の高

誘電率誘電体と、セルロースからなる圧電性繊維とが混合されている複合制振材料。

【請求項 2】

マトリックスとなるエラストマー又は高分子樹脂中に、二酸化チタンからなる針状の高誘電率誘電体と、セルロースからなる圧電性繊維と、無機材料からなる扁平状のフィラーと、導電性微粒子とが混合されている複合制振材料。

【請求項 3】

前記圧電性繊維が、セルロースファイバーからなる請求項 1 又は 2 のいずれか 1 項記載の複合制振材料。

【請求項 4】

前記セルロースファイバーのアスペクト比が 2 ~ 1 0 である請求項 3 記載の複合制振材料。

【請求項 5】

前記二酸化チタンからなる針状の高誘電率誘電体の配合量が 3 重量% ~ 7 重量%で、かつ、前記セルロースからなる圧電性繊維の配合量が 4 重量% ~ 1 0 重量%である請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項記載の複合制振材料。